



添削と推敲で

作文 論文記述力をあげるコース



論文 記述力対策コースです。

大阪の公立入試では、300字～500字の記述問題が出題されています。

このコースは、記述力 文章作成力を ゆっくりと養っていくことがねらいです。

名学館では過去大量に 作文論文の課題を通常授業で与えてきました。何度も書かせ、書き直しをさせている中、あることに気づきました。それは、「作文 論文は、他人のチェックをもらって書き直し（推敲）すると、グンと良くなる」ということです。

作文 論文が苦手な生徒は、こんな考えを持っているかもしれません。

- ・真面目に書かないといけない。・正直に書かないといけない。
- ・自分のオリジナルの考えを書かないといけない。
- ・周りに評価され褒められ、すばらしいと思われる立派なことを書かないといけない。

これ、本当にそうでしょうか？ 100%正しいのでしょうか？この考え方が作文論文を書くという行為にストップをかけていると思いませんか？

「真面目に」「立派なことを」書かないといけないと思っているから、真面目なことを思いつかないので、文章が書けないという 思考になっているように感じます。



もちろん入試課題なので、真面目に正直に書くのは大切ですが、すこし思考を柔軟にして、これまでガチガチに固まっていたルールを緩めてみてはどうでしょうか。

この「作文論文記述力をあげるコース」では、まず簡単な文章を書くことは当然ですが、その文章に対する真逆の視点から発想した文を書いたり、エピソードを膨らませたり、1つの課題を2倍3倍に膨らませる練習をしていきます。**改善アドバイスは 生徒個別に与えます。**書き直せば書き直すほど、あなた本来の思いが詰まった文章になっていきます。

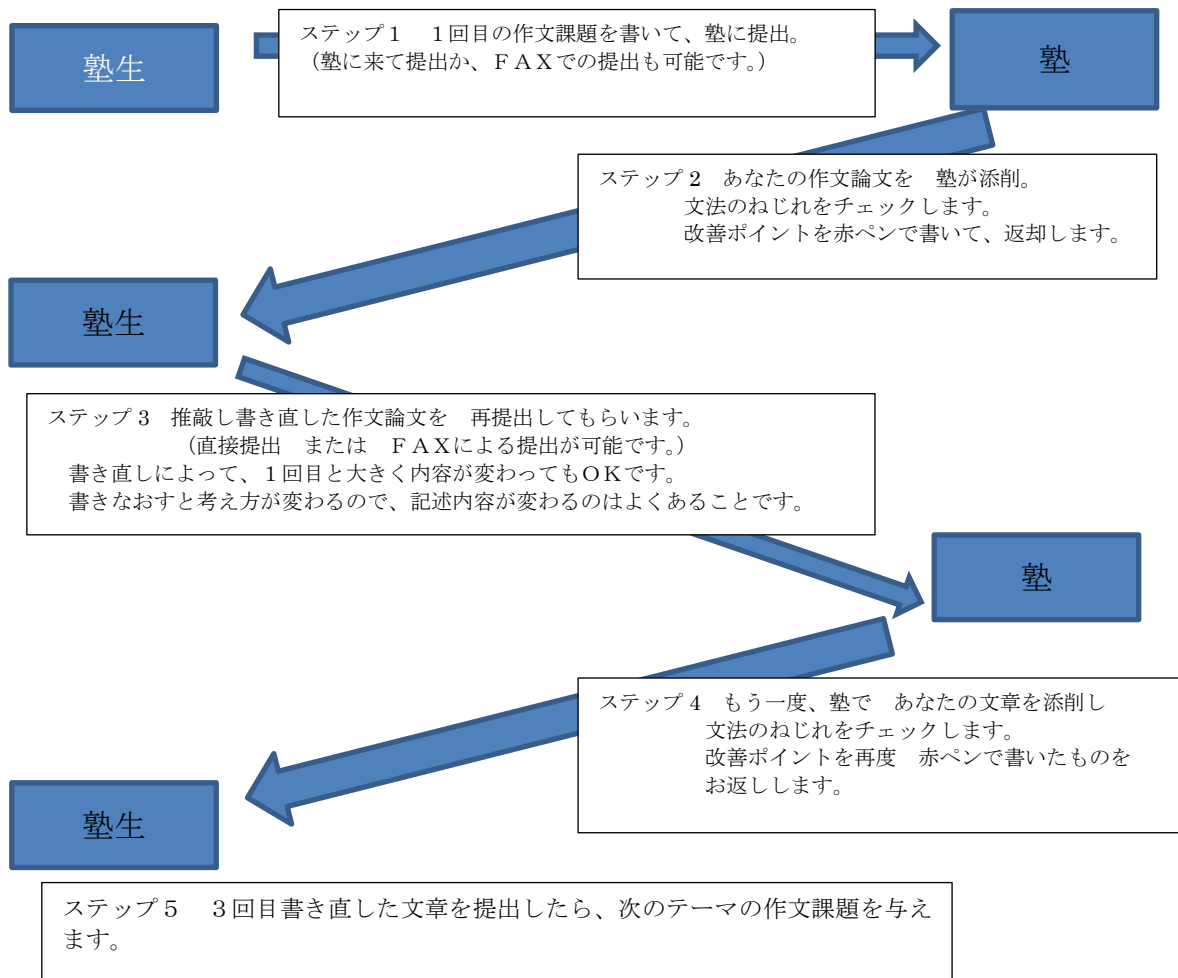
この記述力UPには、時間がかかります。あなたの努力と根気が必要です。書き直して提出するという粘りが必要です。ですから、通常の授業時間では他の教科指導への時間を犠牲にすることになるので、別のコースを設けました。

このコースを受講することで、得られるメリット。つまり、塾長が生徒の皆さんに体験してほしい世界がこれです！

- ・言葉、文章にしていくことで、もやもやした悩みが解決しやすくなる。
- ・書くとドンドン頭が整理されるのがわかる。
- ・本当はどう思っていたのか、どうなりたいと感じているか、本当の夢や希望に気づきやすくなる。
- ・どう表現すると良い文章になるのかが 理解できる。
- ・表現力の幅を広げるので、一度 思考の幅の広げ方がわかると、他の分野にどう応用するかが想像できてしまう。
- ・自分だけの考えという枠を超え、他人の考え思いを想像して共感し、表現していく道が広がる。

本当に力を付けたい人を対象にします。では、コース説明です。

◆コース説明



◆参加方法

付属の用紙のテーマで、作文を書いて来てください。文の提出は、直接またはFAXでの提出が可能です。

課題の提出を、参加意思とみなします。



◆締切と、スケジュール

あなたの書いた作文は、次回の通塾時に 添削とアドバイスを書いて 返却し、書き直し用の原稿用紙もお渡します。1ヶ月に1課題の作文課題の提出を原則とします。書き直したらできるだけ早くして提出してください。書き直すということに、このコースのメリットがあるからです。

たくさん 作文課題をこなせばこなすほど表現力も上がり、文章作成に自信がついていくでしょう。中3は、入試直前まで継続していく予定です。

◆対象 中3 (中2中1も 参加可能。)



◆参加費 無料

論述力、記述力、表現力は高校入試に必須の能力です。
中3は全員受講することをおすすめします。





添削と推敲で 作文論文記述力をあげるコース 2017年 6月度 課題

6月の課題
提出期限
6月24日
(土)

学年 _____ 氏名 _____

課題 下記のAからDの中から、好きなテーマで 300字以上の文章を書いてください。
選んだテーマの記号に○をつけてください。

- A 海外からの留学生と友達になりました。あなたはどこに案内してあげますか？そして何を体験してもらいたいですか？
- B 人工知能の進化により、将来無くなるといわれる仕事がありますが、人間でなければできない仕事とは、何でしょう？その理由も書いてください。
- C 体育祭や文化祭で、クラスのみとめ役をするのが得意な人と苦手な人がいます。得意な人、苦手な人には、それぞれどういう特徴があるか、考えて書いてください。
- D 弟や妹に勉強を教える時、あなたが気をつけていることは何ですか？

好い事書こうとか、カッコいい事書こうとか、こう書いたら立派に思われるとか、そんなことは考えなくていいんです。そんなことしなくても、文章には、あなた本来の姿が自然と表れてしまうものです。本当に感じる事を素直にかいてください。書いて提出した作文は、しっかり添削し改善アドバイスを書き込んで、あなたに直接渡します。

添削された文章は、できるだけ早く書き直して塾に提出してください。

文章を書きなおすことで、あなたが身に着けるのはこんな世界です。

- ・言葉、文章にしていくことで、もやもやした悩みが解決しやすくなる。
- ・書くとドンドン頭が整理されるのがわかる。
- ・本当はどう思っていたのか、どうなりたいと感じているか、本当の夢や希望に気づきやすくなる。
- ・どう表現すると良い文章になるのかが理解できる。
- ・表現力の幅を広げるので、一度思考の幅の広げ方がわかると、他の分野にどう応用するかが想像できてしまう。
- ・自分だけの考えという枠を超え、他人の考え思いを想像して共感し、表現していく道が広がる。

FAXによる提出は、06-6961-4109 へ！

名学館放出東校 塾長 野田 孝
電話 06-6961-4119 FAX 06-6961-4109